

(19) その他の取組について

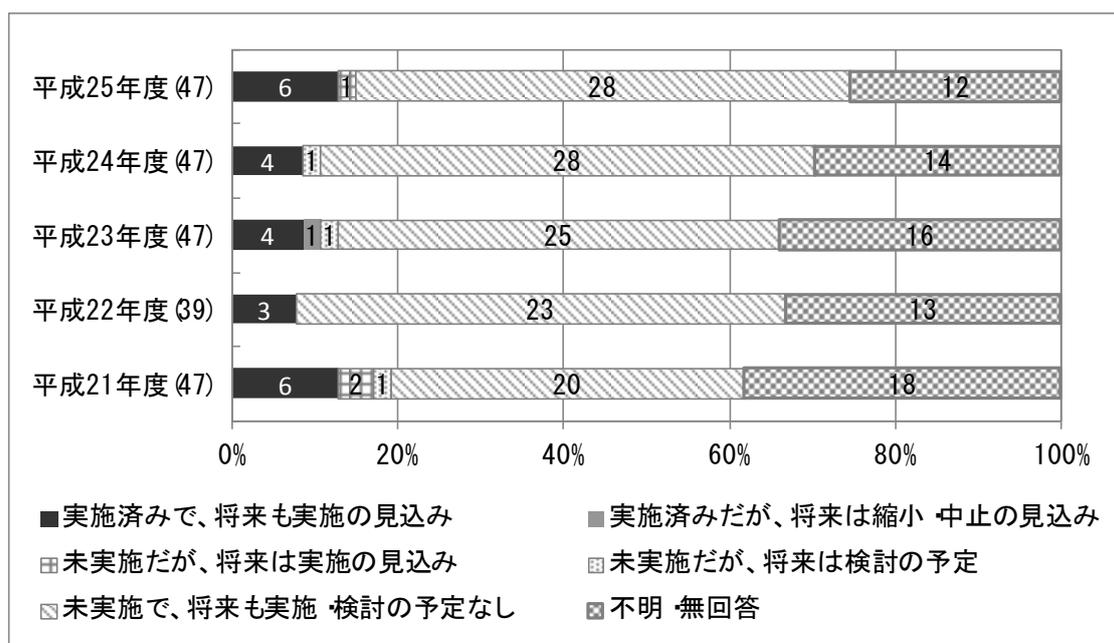
■今年度の特徴

「実施済みで、将来も実施の見込み」が1割強にとどまっている。一方、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が約6割となっている。

■トレンド

「実施済みで、将来も実施の見込み」は初年度と同じ水準であるが、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が増加傾向にある。

その他取組について（都道府県）



- 「実施済みで、将来も実施の見込み」が6件（13%）、「未実施だが、将来は実施の見込み」が1件（2%）、「未実施で、将来も実施・検討の予定なし」が28件（60%）となっている。

＜その他の取組に対する特徴的な回答＞

自治体名	回答内容
岡山県	平成 22 年 6 月から、毎月 10 日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、事業者、消費者・環境団体等、行政（県・市町村）と協働して、買い物の際に「レジ袋を受け取らないようにする運動」を展開している。 現在、スーパー事業者、市町村、消費者団体で構成されるレジ袋削減検討会において、レジ袋無料配布中止（有料化）に向けた検討中であり、今後も、既実施事業者を広報啓発等で支援しながら、実施に向けて調整を行う。
大分県	県は各店舗に掲示するための協力店証を発行している。
東京都	九都県市容器包装ダイエット宣言を行っている。
大阪府	府内の市町村において、レジ袋の削減等に積極的に取り組む小売店を「エコショップ」として登録する取組が実施されており、府では、市町村の希望を受けて、登録されているエコショップを集約したリストを作成し、府のウェブサイトにおいて公表している。